

いつも、インシデント報告ありがとうございます

京大病院医療安全情報28

【抗がん薬投与時の注意】

＜こんな事例がありました＞

病棟にてゲムシタビン投与中に血管痛があり、本来**30分で投与**のところを2時間かけて投与された。ゲムシタビンは60分を超えて投与すると**副作用が増強**すると**添付文書の警告欄**に記載されている薬剤である

この患者さんは**重度の白血球減少**の副作用が出現しました

ゲムシタビン添付文書より

※※2011年9月改訂(第5版)
※2011年8月改訂

貯法	室温保存
使用期限	容器および外装に記載

代謝拮抗性抗悪性腫瘍剤
劇薬・処方せん医薬品*

ゲムシタビン 点滴静注
ゲムシタビン 点滴静注
ゲムシタビン塩酸塩点滴静注

Gemcitabine for I.V. infusion 200mg「Yakult」
Gemcitabine for I.V. infusion 1g「Yakult」

【警告】

1. 本剤の投与は、緊急時に十分対応できる医療施設において、がん化学療法に十分な知識・経験を持つ医師のもとで、本剤の投与が適切と判断される症例についてのみ実施すること。また、治療開始に先立ち、患者又はその家族に有効性及び危険性を十分説明し、同意を得てから投与すること。
2. 週1回投与を30分間点滴静注により行うこと。[外国の臨床試験において、週2回以上あるいは1回の点滴を60分以上かけて行くと、副作用が増強した例が報告されている。]
3. [禁忌]、「慎重投与」の項を参照して適応患者の選択に十分注意すること。

レジメンは、抗がん薬を最も安全に投与できるように流速、投与順番、支持療法などを検討したうえでレジメン登録されています。



レジメンで登録されている内容を安易に変更することは大変危険です！

化学療法レジメンが指示通りに施行できない場合は、直ちに**主治医に報告**し、**病棟薬剤師と相談**して、迅速に対応しましょう。